

臨時農業生産情報

(大雪に対する技術対策)

令和7年1月14日
青森県「農林水産力」強化本部

昨年末からの大雪により、りんごの枝折れやハウス倒壊などの被害が発生しています。

今後の気象情報に十分注意し、次の点に留意して、被害の未然防止と軽減に努めてください。

1 共通事項

施設の確認・除雪作業は、作業者の安全確保を最優先することとし、降雪が治まり、施設等の安全を確保してから行う。

2 りんご等果樹

- (1) 雪が新しく軽いうちに、樹上の雪下ろしを行う。
- (2) 雪に埋もれた枝を掘り上げるか、枝先を抜き上げ、その下の雪を踏み固める。
なお、雪に埋まった枝の掘り上げが困難な場合は、下枝周辺に溝切りやスコップで雪に切れ込みを入れ、沈降力の軽減に努める。
- (3) 剪定で除去する見込みの枝が雪中に埋もれている場合は、早めに切り取り、塗布剤を塗るなどして切り口を保護する。
- (4) 晴天の日が数日続く日を選んで融雪促進剤を散布する。
- (5) 野ネズミによる被害を防ぐため、幹の周りの雪を踏み固める。食害被害が見られた場合は、程度に応じてバッチレート塗布する。

3 野菜・花き等のハウス

- (1) ハウスが倒壊する危険性があるため、安全が確認できるまでは、ハウス内での作業は絶対に行わない。
- (2) ハウス内を暖房して融雪を促し、落雪を容易にする。ハウスに積もった雪は早めに下ろし、ハウス周辺の除排雪を速やかに行う。
- (3) 被覆していないハウスでは、屋根面のパイプに付着した雪を撤去する。
- (4) ハウスが倒壊または破損した場合は、速やかにパイプの修復・補強やビニール等の張り替えを行い、保温に努める。農業共済に加入しているハウスについては、損害評価を受けるなど農業共済組合と連携を密にして早期の復旧に努める。

4 畜産

- (1) 積雪による畜舎等の倒壊を防ぐため、屋根の雪下ろしを行う。
- (2) フィルム製の屋根材を使用している堆肥舎等については、施設側面の除排雪を行う。

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	(りんご等果樹) りんご果樹課生産振興グループ GM 小笠原 宜弘 (野菜・花き)【発行元】 農産園芸課野菜・花き振興グループ GM 木村 一哉 (畜産) 畜産課経営支援グループ GM 三村 葉子
電話番号	(りんご等果樹) 直通 017-734-9492 内線 5146 (野菜・花き) 直通 017-734-9481 内線 5076 (畜産) 直通 017-734-9496 内線 4814
報道監	農林水産部 次長 及川 正顕 (内線：4966) 次長 栗林 豊 (内線：4967)

青森県では、臨時農業生産情報をパソコンやスマートフォンにメール配信するサービスを実施しています。青森県農業情報のホームページ「農ナビ青森」からお申し込み下さい。

農ナビ青森のHPアドレス

(<https://www.nounavi-aomori.jp/>)

「トップページ」→「農業情報ページ」→「農業情報」
に掲載



農ナビ青森 QRコード